

2024年10月29日

各位

会社名 株式会社カナミックネットワーク  
代表者名 代表取締役社長 山本 拓真  
(コード番号：3939 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役 管理部部長 若林 賢也  
(TEL. 03-5798-3955)

## THE WORLD MANAGEMENT PTE LTDの株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ

### 【カナミックネットワーク海外展開ビジョン】

当社は、2024年10月29日開催の取締役会において、THE WORLD MANAGEMENT PTE LTD（以下、「TWM社」）の株式を取得し当社の連結子会社とするため、株式譲渡契約を締結することを決議しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 株式取得の理由

当社グループは、日本の課題に対するソリューションサービスを提供する企業として、①超高齢社会、②健康寿命延伸、③スタートアップ支援を三本の柱にサービス品質・技術力の強化、顧客満足度の向上に継続的に努めておりますが、今後、更なる成長・発展を遂げるために、超高齢社会のヘルスケア分野と関連性の高い事業を推進し、新たな付加価値を創造していくことが必要であると認識しております。今後の成長戦略としましては、M&Aを積極的に推進し、ヘルスケア分野から保険サービス分野、リアル店舗からITサービスまで、事業ポートフォリオの拡大等を掲げております。

このたび株式を取得するTWM社は、シンガポールのITコンサルティング企業です。TWM社は、シンガポール国内の多くの企業に対し、主に、販売管理や在庫管理、会計管理などのバックエンドシステムの導入コンサルティングとメンテナンスサービスを提供しております。

TWM社のバックエンドシステムと、当社グループが保有するフロントエンドシステムの開発力を組み合わせることで、TWM社の顧客をはじめとするシンガポールの企業に、総合的なITシステムを提供することが可能となります。また、TWM社の顧客のなかには、介護事業や医療クリニックを手掛けている企業も複数あり、TWM社の顧客群は、当社がヘルスケア・ヘルステック企業として更なる付加価値の高いサービスを提供する上で大きな推進力になると判断しております。またシンガポールを拠点にASEAN諸国をはじめとした東南アジアへの展開も見込んでおります。

当社では『「人生を抱きしめるクラウド」で人と社会に貢献する』というビジョンを前提に「事業コンテンツ」、「事業エリア」、「事業ツール」の補強・拡大を行うため、M&Aを積極的に推進しており、TWM社の株式取得は、当社の成長戦略『カナミックビジョン2030』の「Phase4：海外展開」への本格的な着手ともなります。当社グループにおける新規事業の創出・既存事業の拡大とともに、M&Aの推進を通じてビジョンの実現と継続的な成長を図ってまいります。



## 2. 株式取得の方法

当社は2024年11月29日にて、TWM社の発行済株式の全てを取得し、当社の連結子会社といたします。

TWM社株式譲渡代金は金銭にて支払いを行い、当該金銭は全額当社の自己資金を充当いたします。

## 3. 子会社となる会社の概要

|                      |  |               |               |
|----------------------|--|---------------|---------------|
| (1) 名称               | THE WORLD MANAGEMENT PTE LTD   |               |               |
| (2) 所在地              | 100 LORONG 23 GEYLANG, #06 - 01 D' CENTENNIAL 388398 SINGAPORE             |               |               |
| (3) 代表者の役職・氏名        | DIRECTOR・WANG WENG KANG<br>DIRECTOR・CHUA LI CHENG JENNY (CAI LIQING JENNY) |               |               |
| (4) 主な事業内容           | IT コンサルティング  |               |               |
| (5) 資本金の額            | 50,000 SGD   |               |               |
| (6) 設立年月日            | 1980年1月2日  |               |               |
| (7) 大株主及び持株比率        | WANG WENG KANG 50.0%<br>CHUA LI CHENG JENNY (CAI LIQING JENNY) 50.0%       |               |               |
| (8) 当社との関係           | 記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。  |               |               |
| (9) 最近3年間の経営成績及び財政状態 |  |               |               |
|                      | 2021年12月期  | 2022年12月期     | 2023年12月期     |
| 純 資 産                | 1,585,743 SGD  | 1,423,035 SGD | 1,632,817 SGD |
| 総 資 産                | 2,246,024 SGD  | 1,972,610 SGD | 2,099,834 SGD |
| 1株当たり純資産             | 31.71 SGD  | 28.46 SGD     | 32.66 SGD     |
| 売 上 高                | 2,899,923 SGD  | 3,444,497 SGD | 3,544,395 SGD |
| 税引前当期純利益             | 23,272 SGD   | 259,991 SGD   | 225,226 SGD   |
| 当期純利益                | 22,795 SGD   | 237,292 SGD   | 209,782 SGD   |
| 1株当たり当期純損益           | 0.46 SGD   | 4.75 SGD      | 4.20 SGD      |
| 1株当たり配当金             | 8.00 SGD   | -             | 4.00 SGD      |

#### 4. 株式取得先の概要

株式取得先の相手先は3.(7)に記載の個人株主2名であり、また、両氏と当社との間に資本・人的・取引関係はなく、関連当事者にも該当しません。

#### 5. 取得株式数、取得価格及び取得前後の所有株式の状況

|              |   |               |                 |
|--------------|---|---------------|-----------------|
| (1)異動前の所有株式数 | 0株  | (所有割合 0.0%)   | (議決権の数 0個)      |
| (2)取得株式数     | 50,000株   | (所有割合 100.0%) | (議決権の数 50,000個) |
| (3)取得価格      | TWM社 普通株式 5,000,000 SGD (約577百万円)<br>アドバイザー費用等(概算額) 44百万円<br>※取得価額については、公平性・妥当性を確保するため、第三者算定機関による株式価値の算定結果を勘案し決定しております。 |               |                 |
| (4)異動後の所有株式数 | 50,000株   | (所有割合 100.0%) | (議決権の数 50,000個) |

※取得価格の円貨への換算は、1SGD=115.30円(2024年10月25日時点)を使用しております。

#### 6. 今後の日程(予定)

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 取締役会決議日     | 2024年10月29日     |
| 株式譲渡契約締結締結日 | 2024年10月29日     |
| 株式取得日       | 2024年11月29日(予定) |

#### 7. 今後の見通し

本件株式取得による当期の連結業績に与える影響は現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以上

**The World Management Pte. Ltd.**

**株式取得（完全子会社化）について**

**【カナミックネットワーク海外展開ビジョン】**

2024年10月29日 証券コード：3939

株式会社 **カナミックネットワーク**

## **1** 買収対象会社 (The World Management Pte. Ltd.) について … P.3

- 1-1. The World Management Pte. Ltd.の概要
- 1-2. The World Management Pte. Ltd.の過去業績について
- 1-3. グループ企業の事業構成と事業シナジー

## **2** シンガポールとカナミック海外展開ビジョンについて…………… P.8

シンガポールへの展開について

- ト2-1. アジアの要衝
- ト2-2. 医療・介護の状況
- ト2-3. ITサービスの状況

カナミックの海外展開ビジョン

- ト2-4. Purpose & Values
- ト2-5. 「カナミックビジョン2030」M&Aによる成長戦略
- ト2-6. 海外展開の展望



# 1. 買収対象会社について (The World Management Pte. Ltd)



**KANAMIC NETWORK**

# 1-1.The World Management Pte. Ltd.の概要



THE WORLD MANAGEMENT PTE. LTD. (以下、TWM) は、シンガポールにおいて多くの顧客を保有するERP導入コンサルティング企業である。

1980年の創業以来、Sageの導入コンサルを開始し会計周りのインターフェイスの提案を行うことで業容が拡大し、その後SAPの取り扱いを開始。直近では、「Sage Top Excellence Partner 2023 for Highest ISV Growth」、「SAP Growth Partner of the Year – Singapore 2023」などのアワードを受賞している。

|       |   |
|-------|---|
| 商号    | The World Management Pte. Ltd.  |
| 本社所在地 | 100 LORONG 23 GEYLANG, #06-01 D’CENTENNIAL 388398 SINGAPORE   |
| 代表者   | WANG WENG KANG (50%) , CHUA LI CHENG JENNY (50%)  |
| 創業・設立 | 1980年1月   |
| 資本金   | SGD 50,000  |
| 事業内容  | SAP,Workbench (プロジェクト管理)、SAGE (顧客関係管理ソフトウェア) を法人クライアントに提供している。コンサルティング、トレーニング、サポート、開発のすべてを自社で行うケイパビリティを有する。 |
| 従業員数  | 25名 (役員含む)  |

### 受賞アワード



# 1-1.The World Management Pte. Ltd.の概要

## 医療・介護事業者を含め1000以上のプロジェクト実績を有するITコンサル企業

TWM社の顧客には物流、サービス、情報・通信、機械、建設、電気・ガス等々、様々な業種の企業があり、中にはグローバル企業、日系企業も含まれている。医療・介護系では750床と400床の介護施設やリハビリテーションセンター・コミュニティケアセンター・在宅ケアサービスを提供している事業者「Kwong Wai Shiu Hospital※1」や、40以上のクリニックを展開している「Singapore Medical Group※2」なども含まれている。

TWMは、これらの事業者に対し、SAP/Sageの導入コンサル、メンテナンス、サポートを行っており、会計業務システム、顧客管理システム等のERP/ITサービスを提供している。



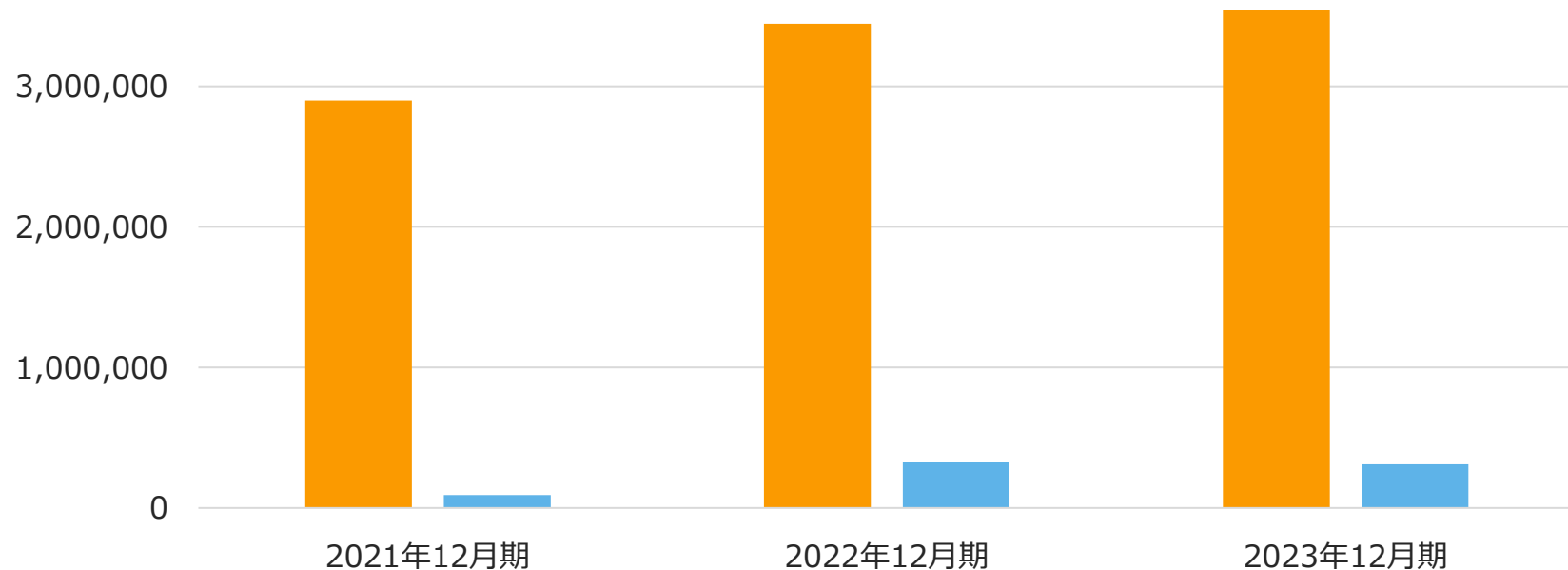
(出典) The World Management Pte. Ltd. HPより



# 1-2.The World Management Pte. Ltd.の過去業績について

## ■業績推移 (単位 : SGD)

■ =売上高 ■ =EBITDA

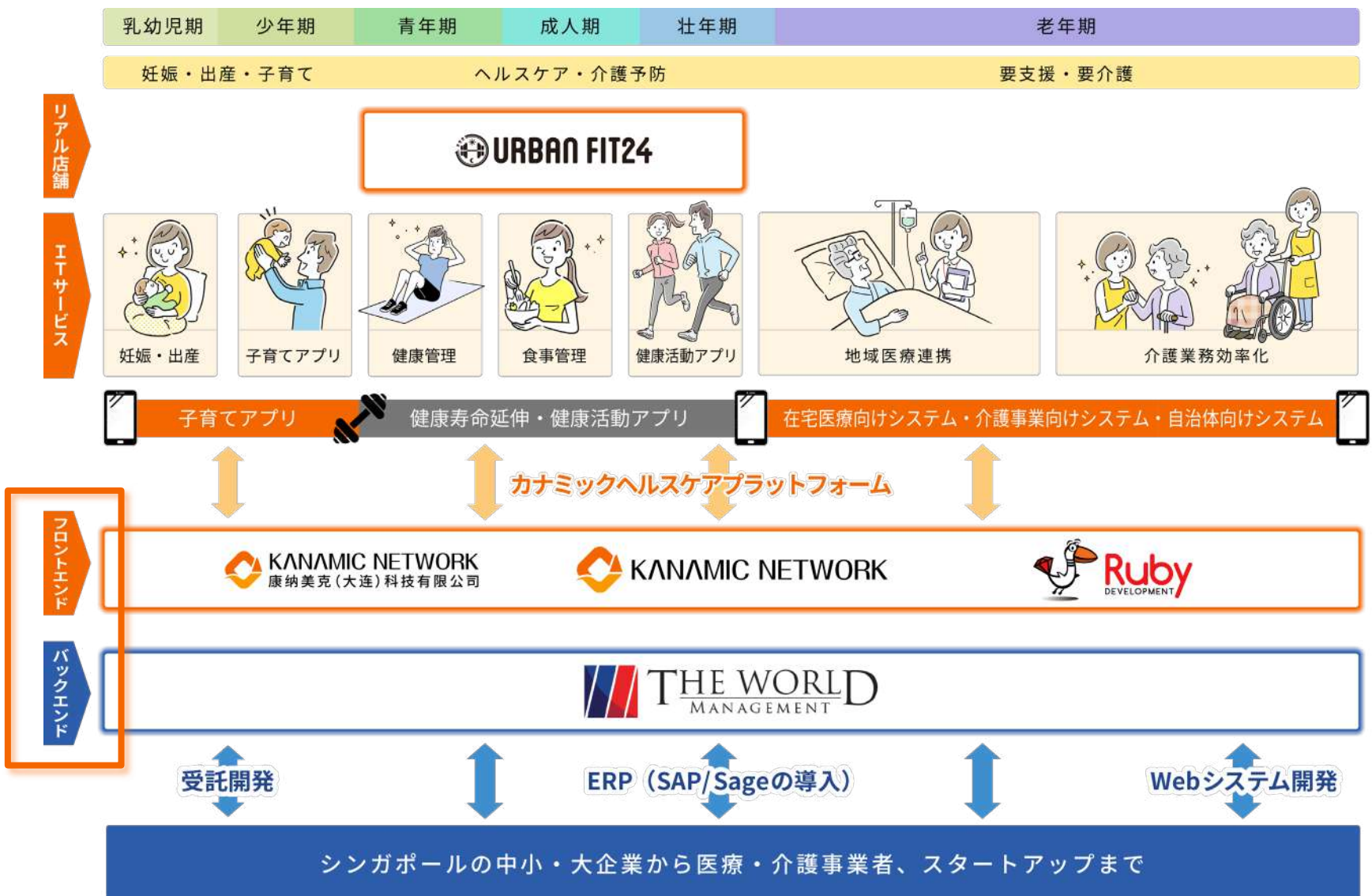


|        | 2021年12月期 | 2022年12月期 | 2023年12月期 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高    | 2,899,923 | 3,444,497 | 3,544,395 |
| EBITDA | 91,578    | 327,092   | 311,331   |
| 売上原価   | 863,324   | 1,079,451 | 1,126,691 |
| 売上総利益  | 2,036,599 | 2,365,046 | 2,417,705 |
| 当期純利益  | 22,795    | 237,292   | 209,782   |

(単位 : SGD)

# 1-3. グループ企業の事業構成と事業シナジー

TWM社のバックエンドシステムと、当社グループが保有するフロントエンドシステムの開発力を組み合わせることで  
TWM社の顧客をはじめとするシンガポールの企業に、総合的なITシステムを提供することが可能



## 2. シンガポールと カナミック海外展開ビジョンについて



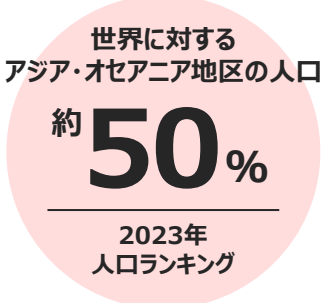
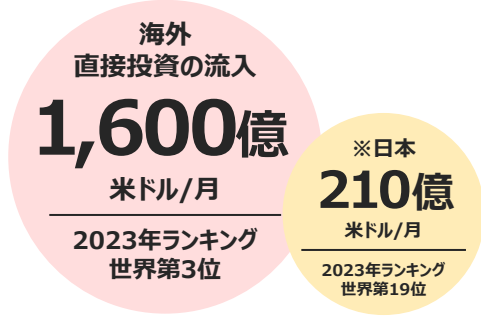
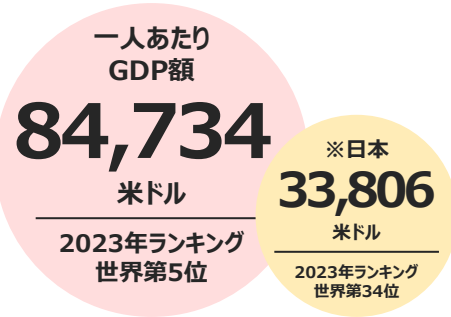
KANAMIC NETWORK



# 2-1.シンガポールへの展開について 【アジアの要衝】

シンガポールの国際的競争力は高く、周辺地域への展開につなげることも可能

シンガポールはマレー半島の南端に位置する都市国家。面積は東京23区とほぼ同じで人口564万人と小さな国だが、ビジネス環境の先進性を政府主導で維持しており、多くの多国籍企業が地域統括拠点・本社機能を設置。アジアの要衝に位置し周辺地域へのアクセスが容易なため国際的な競争力も高い。



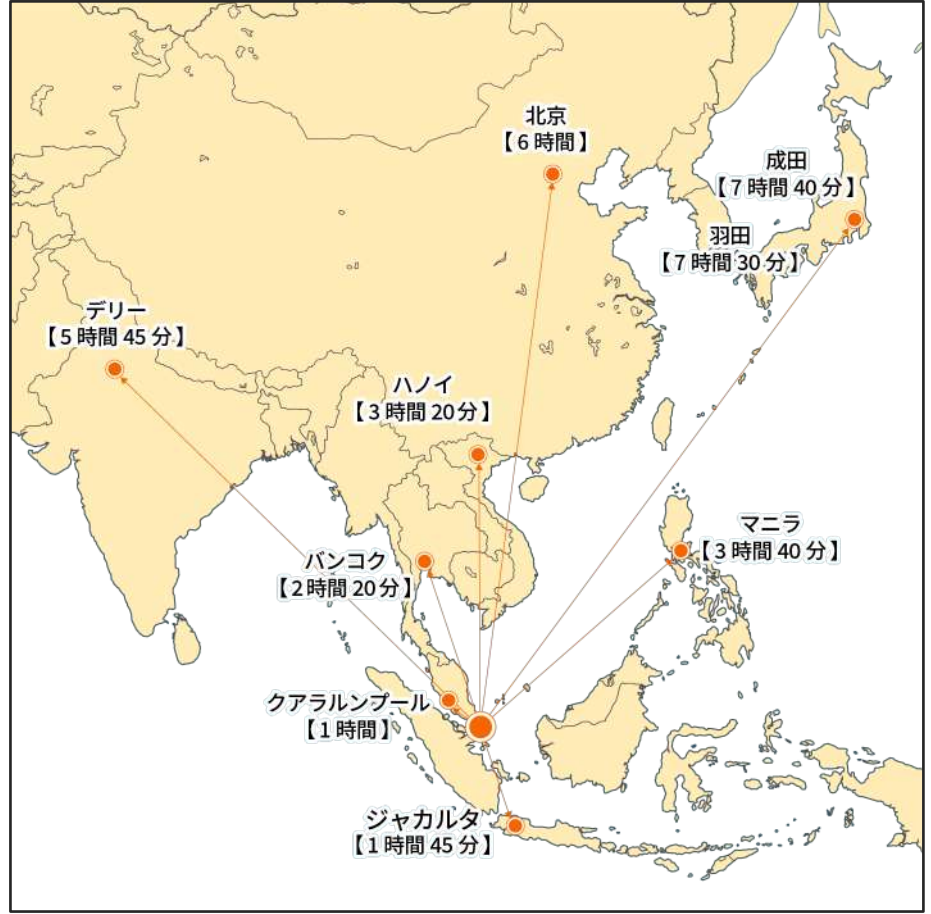
各国との条約締結状況

|     |          |
|-----|----------|
| FTA | (自由貿易協定) |
| IGA | (投資保護協定) |
| DTA | (租税条約)   |

(出典) IMF、JETRO、UNCTAD、チャンギ空港HPの資料を基に作成

## シンガポールから周辺諸国へのアクセス

近隣国の主要都市に毎日複数便が往行



※飛行時間は目安、1都市に2空港以上の場合主要空港のみ（日本は例外）



## 2-2.シンガポールへの展開について 【医療・介護の状況】

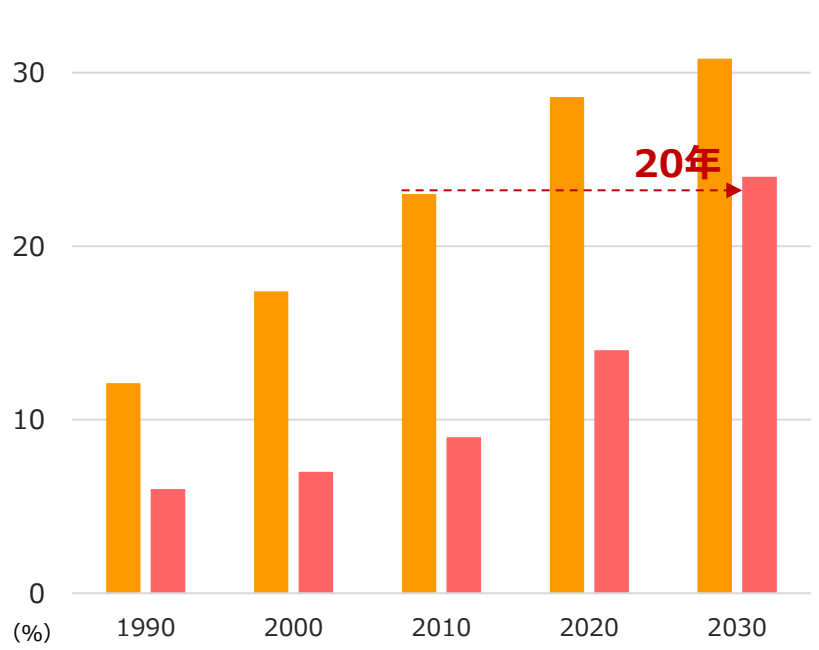
### シンガポールでは日本から約20年遅れて、同様の高齢化を辿っている

ASEAN主要国及びインドでは、経済水準の上昇と医療体制整備の進展等を背景に、長寿命化が進展。一方で合計特殊出生率をみると、シンガポールでは、少子高齢化が社会問題化する日本を大きく下回っており、将来社会を支える国民が少なくなる状況にある。ただ、外国人の流入により人口自体は増え続けている状況である。東南アジア各国の社会保障制度をみると、介護保険制度を有しているのはシンガポールのみ。今後高齢化が深刻化していく過程で社会保障を充実させる動きが活発化することが想定され、特に深刻なシンガポールやタイでは今後加速化していくことが見込まれる。

#### 日本とシンガポールの状況比較

|                            | 日本               | シンガポール           |
|----------------------------|------------------|------------------|
| 人口 (2023)                  | 125百万人           | 6.0百万人           |
| 一人あたりGDP額 (2023)           | USD33,806        | USD84,734        |
| 合計特殊出生率                    | 1.30             | 1.02             |
| 平均寿命                       | 84.8歳            | 82.8歳            |
| 高齢化率 (2021年→50年)           | 30% → <b>38%</b> | 14% → <b>34%</b> |
| 高齢者1人を支える生産年齢人数(2021年→50年) | 2.0人 → 1.4人      | 5.2人 → 1.6人      |
| 社会保障制度                     | 医療保険             | ○                |
|                            | 年金保険             | ○                |
|                            | 介護保険             | ○                |

■ 各国高齢化率の推移      ■ = 日本      ■ = シンガポール



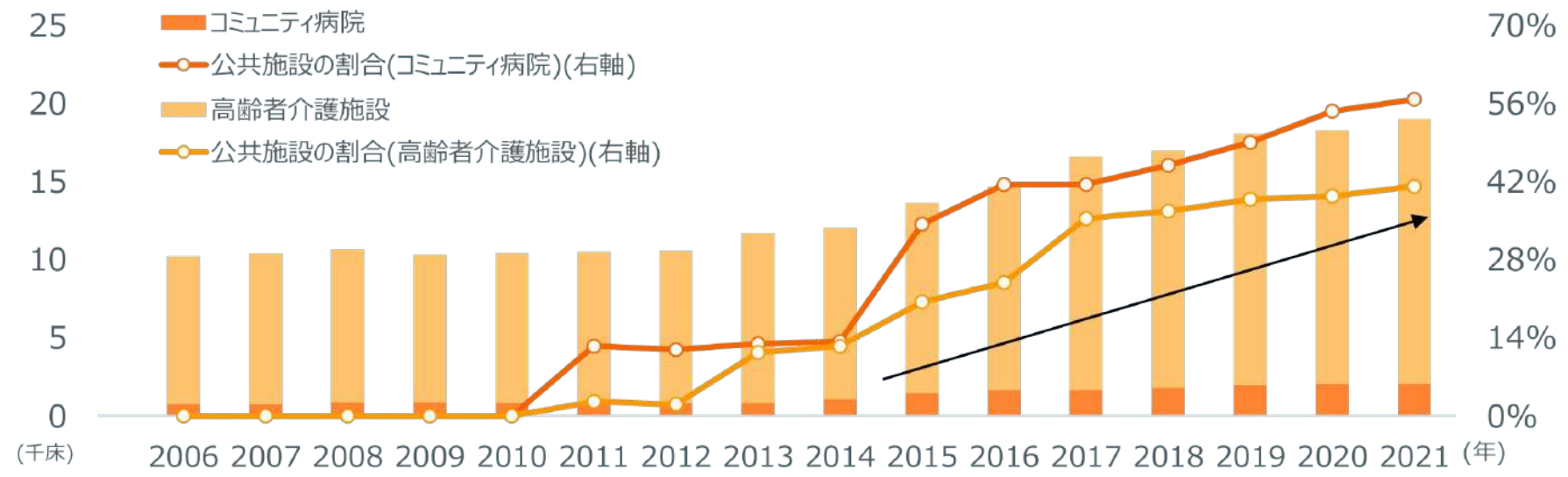
(出典) United Nations, IMF, JETRO, 厚生労働省、内閣府、Ministry of Health & Family Welfareの資料を基に作成

## 政府主導の下、介護施設の整備や、要介護者低減のための健康促進の取組も推進

2015年以降、シンガポール政府では“Action Plan for Successful Ageing”とのスローガンの下、政府が陣頭指揮を執る形でコミュニティ病院や高齢者介護施設等の整備を進めてきた。

2023年1月には、5年間の高齢化対策を盛り込んだ新たなアクションプランを公表。従来に比べて健康な高齢者(“アクティブシニア”)の拡大に力点が置かれており、介護需要への対応のみならず、国民の健康促進によって要介護者の低減を図る取組も強化している。保健省(Ministry of Health)傘下に健康促進庁(Health Promotion Board)を設置。生活習慣改善アクションプランを制定し国民の健康促進による病気予防・要介護者の低減を推進している。

### 介護関連施設数の推移



(出典) JETRO、Singapore Department of Staticsの資料を基に作成

# 2-3.シンガポールへの展開について 【ITサービスの状況】

## アジアのIT産業を牽引する存在のシンガポールには、グローバルIT企業の進出も多数

IMD World Digital Competitiveness Ranking2023によれば、シンガポールのデジタル競争力ランクは世界3位（日本は32位）。評価の内訳には「知識」、「技術」、「将来への備え」の3項目があり、「技術」では世界1位となっている。多くの多国籍企業や新興企業が進出しており、業務をサポートするITサービスへの需要が高い。

IMD World Digital Competitiveness Ranking

<総合ランキング2023>



<シンガポールの詳細と推移 (2019-2023) >



(出典) World Digital Competitiveness Ranking 2023より

# 人生を抱きしめるクラウド

子育てにはじまり、介護まで。  
人の幸せを支える、クラウド技術があります。

## Purpose & Values

当社は「人生を抱きしめるクラウドで人と社会に貢献する」ことを企業の存在意義としております。

今後、日本をはじめ世界各国が迎える「超高齢社会」をクラウドプラットフォームでDX（デジタルトランスフォーメーション）することで、人類がウェルビーイングで持続可能な明るい未来を築くことに貢献します。

## 社名の由来

カナミックネットワークの社名は「介護を生き生きと活性化させるネットワークサービスを提供する」という理念から「介護（カイゴ）」と「活性化（ダイナミック）」そして「ICT（ネットワーク）」の3つのキーワードを掛け合わせて誕生しました。



# 2-5.カナミックビジョン2030 M&Aによる成長戦略

## Phase4 : 海外展開

- 医療・介護 ICT
- 健康寿命延伸事業 (日本の KAIGO で世界の高齢社会を救う)

## Phase3 : ブランディング (BtoC)

- 医療関連事業
- 薬局関連事業
- 介護関連事業
- データビジネス (製薬関連、紹介ビジネス等)
- 健康寿命延伸事業
- ※食・運動・コミュニティ ※アクティブシニア向け

## Phase2 : プラットフォームサービス拡大 (BtoB、BtoBtoC)

- インターネット広告
- Fintech
- Web 明細 /BPO
- AI/IoT
- 人材紹介 / 派遣
- 物販
- SES 事業
- IT ラボ事業
- シェアリングエコノミー

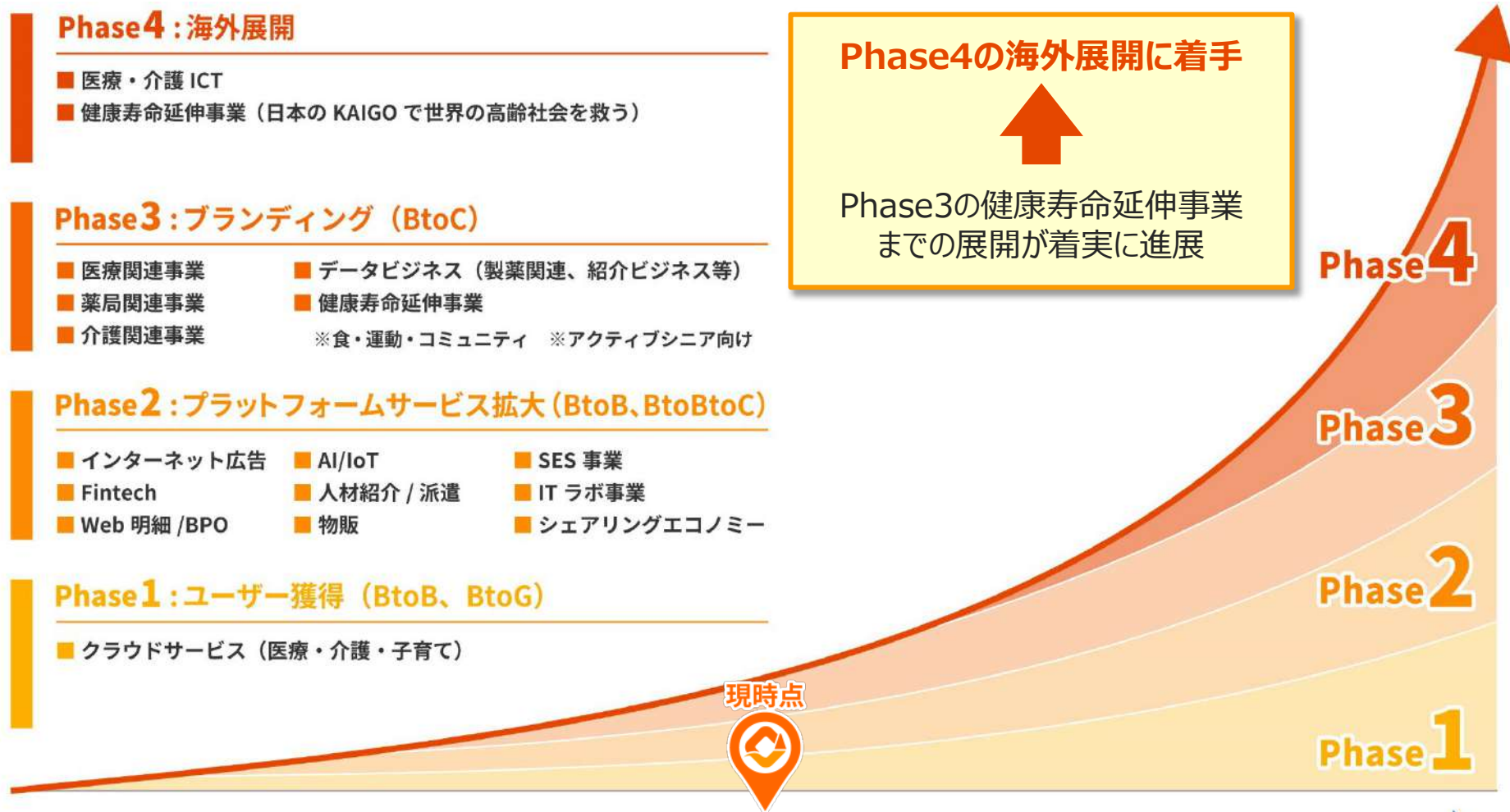
## Phase1 : ユーザー獲得 (BtoB、BtoG)

- クラウドサービス (医療・介護・子育て)

Phase4の海外展開に着手

↑

Phase3の健康寿命延伸事業  
までの展開が着実に進展



2020 2025 2030

- : 日本の状況
- : 世界の状況
- パンデミックによる健康意識向上
- 日本の高齢化率 30%を突破
- 団塊の世代が全員 75 歳を超える
- 団塊の世代が全員80歳を超える
- マイナンバー活用 科学的介護の推進 介護の DX 化
- 欧米の先進国が 高齢化率20%を超える
- 非感染性疾患 (NCD) による死亡数は2030年までに 世界で5,500万人に増加
- アジア諸国が 高齢化率 15~20%へ

# 2-6.海外展開の展望

シンガポールを拠点に海外進出し、その後さらに東南アジアへの展開を見込む。



カナミックグループは超高齢社会の課題に対するソリューション（課題解決）サービスを事業の3本柱にしています

① **超高齢社会**  
(少子高齢化)

② **健康寿命延伸**  
(人生100年時代)

③ **スタートアップ支援**  
(新産業の創出)

1 国とともに日本のハイレベルな**日本式介護**を輸出。

2 シンガポールを中心とする東南アジアの病院、クリニック、介護施設に対し、カナミックネットワークが持つ**医療・介護DX技術**や**健康寿命延伸**に資するサービスを展開する。

3 スピーディなWebサービスの企画・開発の提供を行うことでシンガポールを中心とする**スタートアップ企業の支援**を行う。

4 シンガポールで医療・介護・健康DX成功事例を構築し、**「日本-シンガポールモデル」**を東南アジア全域に広げていく

5 東南アジアからの**「医療インバウンド」**や、**「医療・介護人材」**の日本への誘致を加速させる。

6 東南アジアの**スタートアップ企業**が日本で活躍する場面も増加。